



未来を夢見て

2020/10/30 No. 44

小野っ子太鼓・ハロウィン・落ち葉拾い ～爽やかな秋の一日～

10月も残すは今日1日となりました。

業間には、小野っ子太鼓に取り組んでいる皆さんが、今日は4年生限定で日頃の練習の成果を披露してくださいました。例年、運動会などで全校に披露していただいていたのですが、今年は残念ながら感染症対策のため、発表の機会が失われてしまいました。さらに、もう一つ課題がありました。それは団員の人数が減っていることです。そこで、小野っ子太鼓に関わっている保護者の皆様が学校に相談においでになり、蜜をさけるために、学年ごとの有志での見学会が実現することになりました。見学会の前にはPRの動画も作っていただくほどの熱の入れようでした。

この小野っ子太鼓ですが、元々は「宮床小学校小野分校」で行われていました。校長室にある「小野分校閉校記念誌 おもいで 小野っ子117年のあゆみ」を読むと、運動会や学芸会で「ぶち合わせ太鼓」が披露されていたこと、卒業生の多くの方が、小野っ子太鼓を小学校の一番の思い出として作文に書いていることが分かりました。また、学校でも当時の教育課程の中にふるさと学習の一環として取り組んでいたことが記されています。小野分校の閉校とともに、小野小学校が誕生し、その後も有志の皆さんで受け継いでこられた小野っ子太鼓ですが、受け継ぐ人が少なくなってきたようです。私も初めて聞かせていただきましたが、とても心地のよい響きと息の合った演奏で、魂が揺さぶられるような思いがしました。



校内に目を向けると、最近、魔法使いのようなコスチュームで廊下を歩いている方々に出会います。オルシ先生と麻衣先生が外国語活動の授業でハロウィンの時期に合わせて、題材を選んでくださっています。新しい学習指導要領で外国語と外国語活動が本格的に始まりましたが、本校では専科で取り組んでくださっているところが強みです。麻衣先生には外国語通信『ポレポレ』を発行していただいているので、最新の英語教育事情や現在の活動状況が分かり大変助かっています。



さて、今朝もいつものように交通指導を終えると、緑のジャンパーをきた方が一人で黙々と落ち葉を集めてくださっていました。この時期どうしてもたくさんの落ち葉が出るので、落ち葉拾いは欠かせません。集めた落ち葉を両手に抱え、その方が校内に戻っていく後ろ姿を見ていると、その後方にきれいな虹が架かっていました。人知れずこのような仕事を行ってくださっている方々のおかげで、今日も子供たちや地域の皆様が気持ちよく生活できていることを実感しました。

最近の爽やかな秋空のように清々しい秋の一日となりました。

(文責：手代木)